



尚絅大学 尚絅大学短期大学部

尚絅祭～Palette～開催

令和6年11月23日(土)、24日(日)に「第71回 尚絅祭～Palette～」を開催しました。

今年のテーマは「Palette」。学生や参加者の笑顔、個性、幸せの色がパレットに混ざり合うように多彩で良い色を出し、発揮していけるような学園祭にしたいという願いを込めました。

外国語スピーチコンテスト開催

令和6年11月2日(土)に九品寺キャンパス7号館で尚絅大学・尚絅大学短期大学部グローバル化推進センターと現代文化学部が主催した「外国語スピーチコンテスト」が開催されました。

今回で5回目を迎えた本コンテストには、県下の高校から22名の高校生と交換留学生を含む大学生9名が参加し、英語スピーチ、日本語スピーチ、韓国語朗読、中国語朗読の各部門に分かれて、日頃から培ってきた外国語の力を発揮しました。

高校生の部では三代暁紫さん(熊本県立八代高校、英語スピーチ部門)、ゲインザ・ジュリエットさん(尚絅高校、日本語スピーチ部門)、別城歌乃さん(熊本県立東稜高校、韓国語朗読部門)、榊華さん(尚絅高校、中国語朗読部門)がそれぞれ学長賞を受賞しました。

大学生の部では蔵本紅音さん(韓国語朗読部門)、杉本千恵さん(中国語朗読部門)が学長賞を受賞しました。



令和6年度 夏季キャリアガイダンス

令和6年9月27日(金)に九品寺キャンパスにおいて夏季キャリアガイダンスを開催しました。

大学3年生と短大部1年生向けに実践を踏まえた就職活動準備講座として「模擬面接講座」、「SPI対策講座」、「JAL客室乗務員によるマナー講演」を実施しました。さらに、大学1・2年生向けに「学長講話」、「金融リテラシー講座」、「JALマナー講演」を実施し、早期からのキャリア形成に対する意識や就職活動に対する意識の醸成を強化しました。

また、全学年を対象に企業研究が常時できるようオンデマンド形式の「WEB合同会社説明会」の配信も行っています。



九品寺キャンパス

1日目は、コスプレやカラオケ、軽音サークル・ダンスサークルのステージ発表が行われ、ミスコンテストでは5名の学生が出場し、華やかな姿を見せてくれました。

2日目は、ロック研究会などによるステージ発表と俳優「井上想良」(いのうえ そら)さんのゲストトークショーがあり、大盛況となりました。



ミスコンテスト

武蔵ヶ丘キャンパス

1日目は体育館でバケラッタと音楽祭が行われました。バケラッタとは新聞紙や広告誌などを素材にして衣装を手作りして披露するファッションショーです。

2日目は模擬店、屋外ステージでダンスセレモニー、SGC(尚絅ガールズコレクション)、お笑い芸人「インボッシブル」さんのライブがあり、体育館ではちびっ子ランドが行われ、笑顔が溢れる学園祭となりました。



バケラッタ

日韓大学生間交流を実施しました。

令和6年7月9日(火)～10日(水)、仁済大学(韓国)の幼児教育学科の学生5名と教員1名が武蔵ヶ丘キャンパスのこども教育学部と幼児教育学科を訪問しました。授業の参観や学生と学食と一緒に食べて、ゲームをしたり熊本城観光をしたりしながら、深い日韓学生間交流ができました。



仁済大学の尚絅大学訪問

令和6年9月21日(土)～25日(水)、こども教育学部の1～2年生11名の学生と鄭英美教授が韓国の釜山大学と仁済大学を訪問し、幼児教育を学ぶ学生たちと交流しました。自己紹介やお土産交換を行い、ボードゲームやボウリング、大学内ツアーなど多様な活動を一緒にしながら親交を深めました。

また、2か所の附属幼稚園や育児総合支援センターを訪問し、こどもたちと散歩に行ったり、ICT教育システムを体験しながら異国のこどもの理解や教育環境の違いについて学びました。その他、博物館や体験施設などへも行き、韓国の文化にも触れてきました。



釜山大学附属幼稚園訪問

令和6年度 尚絅公開講座を開講

令和6年10月5日(土)、12日(土)、19日(土)の3日にわたり、尚絅公開講座を開催しました。

この講座は、地域に開かれた大学を目指して学習の機会を提供し、生涯教育の振興に貢献することを目的としております。今回は「38億年の命ー多世代で新しい時代を生きるー」をテーマに、計9講座を開講しました。幅広い年齢層の方に受講いただき、大変好評でした。



©2010熊本県くまモン

尚絅公開講座	
『生活習慣病の基礎知識』	生活科学部 准教授 實松 史幸
『「多様性」から読み解く台湾の社会と文化』	現代文化学部 准教授 村島 健司
『にっぽんの発酵食品』	生活科学部 准教授 野中 里佐
『熊本県の民謡』	短期大学部 幼児教育学科 講師 中山 健
『インドのろう教育と手話』	こども教育学部 教授 古田 弘子
『人間関係をしなやかにする心理学』	こども教育学部 教授 浜崎 隆司
『農畜水産物の有効活用』	短期大学部 食物栄養学科 教授 相良 剛史
『タイの障害者事情』	短期大学部 総合生活学科 講師 吉村 千恵
『熊本の観光を考える～くまモンの海外展開を基に～』	現代文化学部 教授 柳田 紀代子

「食べて！遊んで！学んじょう！尚絅食と科学のお祭りひろば」を開催



令和6年10月13日(日)に小中学生や一般の方を対象に、生活科学部の学生や教員で楽しいイベントを開催しました。化学反応を利用したサイエンススイーツ作り、冷凍庫を使わないアイスクリーム作り、体年齢や骨密度の測定、楽しい食育クイズや試食コーナーなど、学生たちが考えたたくさんのブースに、200人を越える参加があり、大変好評でした。



尚絅食育研究センター

「尚絅ガールズ 鶏むね肉レシピコンテスト」上位4点を学食で提供！

今年度で11回目を迎える学食レシピコンテストです。生活科学部、短期大学部総合生活学科、食物栄養学科から171点の応募がありました。そして、学生による1次審査、教員による2次審査の結果、グランプリ1点、優秀賞3点、入選5点が決まり、優秀作品4点が学食で提供されました。学生の斬新なアイデアが大変好評でした。

なお、この事業は、尚絅大学及び尚絅大学短期大学部同窓会の支援をいただいております。



鶏むね肉唐揚げサラダ丼



野菜たっぷりチキンドリア



鶏むね肉で北京ダック風～トルティヤ包み～



ビビンバ丼

くまモン学イベントを開催しました

令和6年7月20日(土)オープンキャンパスの企画として、高校生や一般の方々に参加いただき、くまモン学の研究成果報告や学生によるプレゼンテーションを行いました。

くまモン学を学ぶ学生5グループが「くまモンと熊本を満喫するプラン」についてプレゼンテーションを行いました。どのグループもターゲットを明確に定め、熊本の魅力や新たな体験プランで熊本を満喫するプランを提案しました。また、県産品を使ったカフェメニューの提案では、商品デザインにくまモンを使うなど、見た目にもこだわったようです。緊張しながらのプレゼンでしたが、自作のイラストを入れた楽しい提案に、参加者の方々も盛んに拍手され、温かい雰囲気になりました。

くまモンが人と人との架け橋の役目を果たしているとの研究内容が証明されたイベントとなりました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。今後もイベントは継続していきますので、またのご来学をお待ちしています。



©2010熊本県くまモン



尚絅子育て研究センター／尚絅食育研究センター

合同研究会を実施しました

令和6年9月18日(水)、九品寺の尚絅乳幼児食育研究会と武蔵ヶ丘の乳幼児保育研究会の合同研究会を初めて実施しました。みのり保育園の栄養士・保育士の宮原先生、白菊保育園の管理栄養士の町先生からの実践報告がありました。報告を受けてのグループワークでは、各施設における保育者と栄養士の連携の現状と課題をテーマに話し合いを行いました。

食に見られる課題は、子どもの育ちや保護者支援の課題など、保育の課題と重なることが多いです。保育室と給食室の連携は進んでいる施設もあれば、難しさを感じている施設もありましたが、子どもに対する思いは、保育担当者・給食担当者ともに変わりはなく、連携を進めていくことを再確認しました。今回合同で実施したことで、いつもの研究会とは違う視点からの学びを得ることができました。



尚絅子育て研究センター

第23回公開シンポジウムを開催しました

尚絅子育て研究センターでは、保育現場の先生方や子育てに関心のある皆様に向けて、保育や子育ての質の向上をめざした学びの機会を提供しています。その一つの取組として、令和6年8月3日(土)に、第23回公開シンポジウムを開催しました。昨年に続き、テーマは「特別な配慮を要する子ども達への支援」についてです。

まず、文部科学省の特別支援教育調査官の加藤先生から「特別な支援を必要とする子どもへの支援体制構築と保育者に求められる専門性」の講演をいただき、対談では、熊本県教育委員会の松岡先生より「就学の検討から見える『幼児期に必要な支援』」について整理がありました。参加者それぞれが特別支援教育の現状と課題について問い続ける機会となりました。

